亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

令和5年度取組結果

亀 岡 市

1 亀岡市行財政改革大綱 2020-2024実施計画(令和5年度)取組結果について

本市では、健全で効率的な行財政運営を推進するため、行財政改革大綱 2020-2024 と同大綱に基づく実施計画を策定しながら行財政改革の取組を進めています。

大綱は、行財政改革に対する取組の方向性を示した基本方針であり、実施計画は、大綱に掲げる重点取組事項を推進するための具体的な項目を示し、その工程や方法を明確にしたものです。

≪行財政改革大綱 2020-2024 の概念図≫

≪行財政改革の目標>

社会の変化に対応した行財政運営の推進

~安心して暮らせる亀岡市を目指して~

3つの柱

改革の目標の実現性を高 めるため、取組の大きな 方向性を示すもの



重点取組事項

3つの柱の方向性を明確 化するため、重点的に取 り組む項目を示すもの



行財政改革実施計画

重点取組事項を推進するための具体的な項目を示し、その工程や方法を明確にしたもの

令和5年度実施計画の取組結果は、大綱の計画期間5カ年(令和2年度から令和6年度)のうち、令和5年度における具体的な取組内容を取りまとめています。

令和5年度実施計画では、13の取組項目を推進しました。具体的な取組結果については、別紙実施計画調書にそれぞれ取組内容や実績、評価等を記載しています。

2 シートにおける各項目の見方

実施計画シート

「No.」
取組を進行管理するための管理番号

「取組項目」 取組項目の名称

「所管課」 取組項目に取り組む、または取りまとめを行う課

「関係課」
取組項目に対して庁内横断的に取り組む課

「取組内容」
取組項目を達成(実現)するために実際に行う内容

(取組手法)

「期待される効果」 取組項目を実施することによる効果

「計画年度」
取組を実施する年度

「実施項目と計画」 取組項目を達成(実現)するために実施する具体的な

実施項目と年度ごとの計画(工程)

計画は、「準備」、「実施」で表記する。

「準備」…具体的取組を実施するための検討を行い、

実施に向けた準備を行う期間

「実施」…具体的取組を実施する時期

「目標指標と数値目標」 取組内容や実施項目が達成できたかを判断するため

の目標と数値目標

※新規の取組で明確な数値目標を算定できない取組

項目や取組内容の結果を数値化できない項目につい

ては、目標指標を設定していない。

進捗管理シート

「実施状況 計画」 各年度の半期ごとに行う具体的な計画

「実施状況 実績」 各年度の半期ごとに行ったこと(実績)

以下の項目については、年度末に記載

「評価」
当該年度に行ったことの評価

「達成度」
「計画」:年度計画に対する取組実績の評価

「目標」: 目標指標に対する取組実績の評価

「目標 (実績値)」: 数値目標の実績値

※「計画」及び「目標」の達成度は、1~5までの

5段階で評価

1:非常に低い 2:低い 3:普通

4:高い 5:非常に高い

「未達成の原因と今後の取組」 達成度が「1」または「2」になった原因と 今後の取組

「今後の方向性」 今後の取組の方向性のこと

選択肢「継続」、「終了」から選択

「継続」…引き続き取組を継続する

「終了」…当該年度で取組を終了する

※「コメント」欄は、改善事項や今後の取組、また

今後の方向性で特記すべきことを記載

「行政改革推進委員会の評価」 実施結果の達成度を1~5までの5段階で評価 した平均値

1:非常に低い 2:低い 3:普通

4:高い 5:非常に高い

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

		実施計画シー	٠,				
No.	1	取組項目 窓口サービスの充実・事務改善					
所管課		企画調整課・市民課 関係課	保険医療課 報政策課、			福祉課、移	抢務課、情
取組内容		・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約 くやみ窓口を設置する。					
期待される	6効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間 繁雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る			手続きが出	出来る。	
		計画年度	R2	R3	R4	R5	R6
		①窓口業務のあり方の検討					
		対象となる窓口業務の洗い出し(庁内調査)	準備	実施	実施		
		他市の状況調査	準備	実施			
·		窓口業務のあり方の検討・改善		準備	実施	実施	実施
実施項目と	:計画	②おくやみ窓口の設置		1	1	1	
		各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務 フロー決定	実施				
		設置場所・設備関係の調査 設備の設置	実施				
		おくやみ窓口の運用		実施			
目標指標	数値目	見直しを検討・改善した窓口業務数	_	_	1	2	2
口标归标	女 世 日	おくやみ窓口の設置	90%	100%	_	_	_

				進	捗管理シー	,					
R5年度	上半期	計画	【①窓口業務のありた 窓口業務のありた 推進)	あり方の検討】 ちの検討(窓口	のデジタル化	の実績				検討】 ジタル化 <i>0</i>	D実施
実施状況	下半期	計画	【①窓口業務のありフ 窓口業務のありフ 推進)		のデジタル化	の実績	窓口業	口業務の 務の事務 、利用者	改善、デ	検討】 ジタル化 <i>0</i> -ト調査の	D実施 実施
実施結果の 自己評価											
	達原	戊度	計画		3		目標	4		目標 (実績値)	22件
未達成の原因と 今後の取組						_					
今後の方向性	後の方向性 継続 コメント 引き続きデジタル化を中心に窓口サービスの改善に努める。										
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I計画	3	Ⅱ目標		4		Ⅲ妥当性		3

[※]ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

					実施計画シート	•							
No.	2		取組項目	市政情報の共	有化と広報、広聴機会	会の充実							
所管課			広報プロモー	ション課	関係課	情報発信を	行う各課						
取組内容			市政情報の市	ホームページ、	SNS等による積極	的な発信							
期待される	5効果		積極的な発信	によって市政	青報を共有し、市民の	市政への参	画の促進を	図る。					
			計画	年度		R2	R3	R4	R5	R6			
			情報発信に対	するレスポン	ス数の調査	実施	実施	実施	実施	実施			
			調査結果を踏 し	まえた今後のフ	方向性の検討・見直	実施	実施	実施	実施	実施			
実施項目と	:計画												
目標指標	数値目	標	市ホームペー SNSフォロ	ジへのアクセン ワー数の年度約	ス件数、総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000			

					進捗	管理シート						
R5年度	上半期	計画	情報発信に対	するレスポン	ス数の	調査	実績				セス件数、 226,424件	SNSフォロ
実施状況	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直 し 東 市ホームページへのアクセス件数、SNSフォ フー数の総計(下半期)215,227件								SNSフォロ	
実施結果の	評	価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数を増加させることができた。									
自己評価	達原	戊度	計画		3			目標	2	2	目標 (実績値)	406,959件
未達成の原因と 今後の取組			令和4年度同 少、下半期は ていることで	前年度同時期	と同等	で推移した。	また	、各種的	短策でTOF	ページり	【外への流】	入数が増加し
今後の方向性	方向性 継続 コメント ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知 度向上と各施策の効果的な情報発信を目指す。											
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I 計画	3		Ⅱ目標		3		Ⅲ妥当性	ŧ	3

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

					実施計画シート	,				
No.	3		取組項目	市民協働の推	進					
所管課			市民力推進課		関係課	全課				
取組内容				事業者等に対 討し、実施す [、]	して地域の課題解決 <i>の</i> る。)必要性やそ	のための市	「民活動と協	3働について	[理解を広
期待される	5効果		市民活動に参	画する機運が	高まり、関わる人が増	える。				
			計画	年度		R2	R3	R4	R5	R6
			市民活動と協 討・知る機会		解を深める手法の検	実施	実施	実施	実施	実施
			地域課題の共	有と課題解決に	こ向けた協働の促進	準備	実施	実施	実施	実施
実施項目と	:計画									
目標指標	数値目	標		_		_	_	_	_	-

				進掘	#管理シート									
R5年度	上半期	計画	市民活動や協働に	ショップの開催(関する事例の提供 能強化に向けた協		実績	推進委員会の	、ページにおける D開催(1回)、 銭・検討(1回)	が広報、ま 中間支援組	ちづくり協働 I織の機能強化				
実施状況	下半期	計画	市民活動や協働に	1 ワークショップの開催(1 回) 中協働に関する事例の提供 1織の機能強化に向けた協議・検討 2 大の作成、まちづくり協働推進委員会の開催 回)、まちづくりワークショップの開催(2 間支援組織の機能強化に向けた協議1回										
実施結果の 自己評価	評	価	ついては、かめ											
	達成	戊度	計画	4			目標	-	目標(実績値)	_				
未達成の原因と 今後の取組						_								
今後の方向性			継続	継続 コメント 市民活動に接点をもってもらい、参画につながるような事業を引き続き 実施する。										
行政改革推進 委員会の評価	達成	戊度	I計画	3	Ⅱ目標		_	Ⅲ妥当性		3				

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

					実施計画シート	•								
No.	4		取組項目	公民連携によ	るまちづくり									
所管課			企画調整課		関係課	全課								
取組内容			民間企業等と	間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。										
期待される	5効果		民間活力を導	舌力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。										
			計画	年度		R2	R3	R4	R5	R6				
			民間企業等と	の連携、協定網	締結の推進	実施	実施	実施	実施	実施				
			包括協定(※))に基づく施賃	策の推進	実施	実施	実施	実施	実施				
実施項目と	:計画													
目標指標	数値目	標		_		_	_	_	_	_				

					進捗	管理シート						
R5年度	上半期		民間企業等との議 協定に関する状況		締結の	推進	実績	上半期の の調査場	D協定締 E施	結状況及	び連携協定	どの活用状況
実施状況	下半期	計画	民間企業等との協定締結結果の情	等との連携、協定締結の推進 結果の検証 実 大半期の協定締結状況及び連携協定の の調査実施								どの活用状況
実施結果の 自己評価	評	価	連携協定の活料事業において、第 の支援を行うこと	連携企業の	協力を	得ることがで	ごきた	ほか、ト	イレトレ	ノーラーの)派遣によ	
	達原	戊度	計画		3			目標	_	-	目標(実績値)	_
未達成の原因と 今後の取組							_					
今後の方向性			継続	送続 コメント 引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。								
行政改革推進 委員会の評価	達成	戊度	I計画	画 3								

[※]包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

					実施計画シート	•								
No.	5		取組項目	庁内連携シス	テムの確立									
所管課			企画調整課		関係課	全課								
取組内容			の連携を強化す	する。	ため、プロジェクトチ 効率化を図るため、プ									
期待される	5効果		横の連携を強	連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。										
			計画	年度		R2	R3	R4	R5	R6				
			プロジェクト [・] 用	チーム、ワージ	キンググループの活	実施	実施	実施	実施	実施				
			プロジェクト 状及び課題の		キンググループの現	実施	実施	実施						
実施項目と	:計画		プロジェクト のあり方の見		キンググループ設置		準備	実施	実施	実施				
			多様な連携方法	様な連携方法の検討・試行 実施 実施										
目標指標	数値目	標		_		_	_	_	_	_				

					進捗	管理シート						
R5年度	上半期	計画	プロジェクトチー 用 運用マニュアル(·	キング	グループの活	実績		トチーム			设置したプロ -プの活用状
実施状況	下半期	計画	プロジェクトチー 用 運用マニュアル(グループの活	実績		トチーム			设置したプロ -プの活用状
実施結果の	評	価	新たなICT技術 たなイベントを									
自己評価	達原	戊度	計画		2			目標	-	_	目標(実績値)	_
未達成の原因と 今後の取組			運用マニュアルの 6年度上半期での			他の自治体の	調査	を実施し	たが、気	完成には	至らなかっ	たため、令和
今後の方向性			継続	コメント		況の把握に勢 た検討を行う		課題整理	運を行う	とともに	、運用マニ	ニュアの活用
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I計画	2		Ⅱ目標		_		Ⅲ妥当性	Ē	3

重点取組事項 2-2一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

		実施計画シート					
No. 6 取組:	項目 人材の育成、	職員研修の充実					
所管課人事態	果・市立病院経営企画室	関係課			_		
取組内容・日本		遺研修等の実施効果の検 対して、各部署参加の委∫					力及び危機
期待される効果 職員の	D業務能力の向上、職員の	の仕事に対するモチベー	ション向上				
	計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
①人木	オの育成、職員研修の充	<u>実</u>					
研修計	十画の策定と運用		実施	実施	実施	実施	実施
職員布	所修、他団体への派遣研	修	実施	実施	実施	実施	実施
実施項目と計画							
②病防	<u>完全体のリスク管理能力</u>	及び危機管理能力の強化	Ĺ			1	
医療安	安全管理に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
感染效	対策に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
選択和	希望制研修の延べ受講者	数	100	105	110	115	120
	安全管理及び感染対策に	系る研修会の実施回数	2	2	3	3	3

				進捗	管理シート					
R5年度	上半期	画	研修計画の策定お 派遣研修 【 ②病院全体のリ	職員研修の充実】 よび運用、職員研修 スク管理能力及び危 理に係る研修会また	が機管理能力の	実績	研修計画の 派遣研修 【 ②病院全 強化】	育成、職員研修 策定および運用 体のリスク管理 理に係る研修会	、職員研修、	
実施状況	下半期	画	次年度の研修計画 遺研修 【 ②病院全体のリ	職員研修の充実】 の策定、職員研修、 スク管理能力及び危 理に係る研修会また	危機管理能力の	実績	次年度の研 遺研修 【 ②病院全 強化】	育成、職員研修 修計画の策定、 体のリスク管理 理及び感染対策	職員研修、他	機管理能力の
	評	価		、職員研修の充実 研修や接遇研修(など	ぎ実施する	ることができた	-0	
実施結果の	達原	戊度	計画	3		E	目標	3	目標 (実績値)	137人
自己評価	評	価	研修会を計4回実	スク管理能力及び危施することができた の能力向上をするこ	こ。研修により		安全、情報	夏セキュリティ及	び感染症対	策に関しての
	達原	戊度	計画	4			目標	4	目標 (実績値)	4回
未達成の原因と 今後の取組						_	·			
今後の方向性			継続	今後も コメント 【②病 今後も	材の育成、職員 継続して、職員 院全体のリスク 継続して、医療 り組む。	研修けた	の充実を図 能力及び危	る。 機管理能力の強 染対策に係る研	(ヒ】 修を実施し、	職員の能力向
行政改革推進	達局	龙度	① I 計画	3	Ⅱ目標		3	Ⅲ妥当性		3
委員会の評価	~	~	②Ⅰ計画	4	Ⅱ目標		4	Ⅲ妥当性		3

重点取組事項 2-2一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

					実施計画シート	•							
No.	7		取組項目	人事評価制度	の運用								
所管課			人事課		関係課			_					
取組内容					事の充実感を高めるよ こ応じてより良い評価				行う。				
期待される	3効果		・職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる										
計画年度 R2 R3 R4 R5 R6													
			人事評価			実施	実施	実施	実施	実施			
					製定面談)、フォローアップ面 バック面談(育成面談)、ステッ								
実施項目と	:計画		人事評価制度	の見直し		実施	実施	実施	実施	実施			
目標指標	数値目	標		_		_	_	_	_	_			

					進捗	管理シート						
R5年度	上半期		業績評価の「職務 談(目標設定面談)		E 、スタ	'ートアップ面	実績	業績評価談(目標	画の「職務 票設定面談	目標」の)、行動	設定、スタ [、] 記録表の記 <i>。</i>	ートアップ面 入
実施状況	下半期	計画	フォローアップ面i 価、フィードバッ: アップ面談、実施	ク面談(育原	(猫歃)	諫価、総合評 、ステップ	実績	価、最終	終評価、フ 西結果の開	ィードバ	ック面談(す	評価、総合評 育成面談)、 面談、実施状
評価 令和2年度から本格実施しており問題なく実施できた。制度理解が進み定着してきていると思われる。										ると思われ		
自己評価	達原	戊度	計画		3			目標	_	-	目標(実績値)	_
未達成の原因と 今後の取組							_					
今後の方向性			継続	コメント		制度の理解 の充実感を高						
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I計画	3		Ⅱ目標		_		Ⅲ妥当性	Ē	3

2 職員力の最大化

2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり 重点取組事項

					実施計画シート	•								
No.	8		取組項目	業務効率を高	めるためのICTの活用									
所管課			企画調整課・	情報政策課	関係課	全課								
取組内容				可能な行財政選 術)の活用をB	運営を推進するため、 図る。	RPA(※)を	:始めとする	5業務の効率	図化が期待で	ごきるICT				
期待される	待される効果 業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。													
計画年度 R2 R3 R4 R5 R6														
			RPAの活用及と	RPAの活用及び活用業務の拡大 実施 実施 実施 実施 実施										
			AI-OCR (※)	活用及び活用	業務の拡大	実施	実施	実施	実施	実施				
実施項目と	:計画		AI(※)の活	用検討			実施	実施	実施	実施				
			ICTツールの調査研究 実施 実施 実施 実施 実施 実											
目標指標	数値目	標	RPA適用を検討・導入した事務数 3 5 5 5											

				進捗	管理シート					
R5年度	上半期		RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シェ グ(操作研修)、A 調査研究			実績	シナリス 修)、A	-OCR運用、シナリ け作成技術者育成 I活用に関する調 R・実証運用	トレーニング	(操作研 ICTツールの
実施状況	下半期	計	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI? ICTツールの調査研 次年度RPA適用業務	究			AI活用に ICTツー	-OCR運用、シナリ に関する調査、生 ルの調査研究、新 PA適用業務の検討	成AIの導入・ 新ツール本格運	
実施結果の 自己評価	評		各業務担当者と連 職員用チャットツ 作研修を開催した	ノール上で利用可	開発及び運用 能な生成AIを	を行 :導入	った。 し、職員	量の理解度・習	熱度を向上さ	せるための操
	達成	戊度	計画	4			目標	3	目標(実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組						_				
今後の方向性			継続		ルたシナリオ [:] かに行ってい			用が図れるよう る。	に、担当課と	この調整をよ
行政改革推進 委員会の評価	達成	戊度	I計画		Ⅱ目標			Ⅲ妥닄	当性	

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。 ※AI-OCR…人工知能(学習機能)を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。 ※AI…人工知能のこと。

重点取組事項 2-2一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

					実施計画シート	•							
No.	9		取組項目	電子決裁の推	進								
所管課			総務課		関係課	企画調整課	、財政課、	会計課					
取組内容			迅速な意思決	定と効率的な『	事務執行のため、電子	決裁の浸透	と対象範囲	の拡大に取	り組む。				
期待される	5効果		事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減										
	計画年度 R2 R3 R4 R5 R6												
			運用状況の把語	握、先行自治体	本等の調査・研究	実施							
			庁内における	推進体制の確保	呆	準備	準備	実施	実施	実施			
実施項目と	∠計画		環境整備(財 導入、各種規		ムとの連携、機器の		準備	実施	実施	実施			
目標指標	数値目	標		_		_	-	_	_	_			

				進	捗管理シート						
R5年度	上半期	計画	文書管理システム に向けた準備・核		システムの更親	実績	新シスラ	ンググルー テム導入に ーザルの身	こ向けた	先行自治位	
実施状況	下半期	計画	文書管理システム に向けたプロポー					ーザル実施 务委託契約			
実施結果の	評	価	ワーキンググルー 施し、計画通りに						ザル方記	ぱによる業	者選定を実
自己評価	達原	戊度	計画		3		目標	_		目標(実績値)	_
未達成の原因と 今後の取組						_			·		
今後の方向性	今後の方向性 継続 コメント 新システムの構築、更新作業を進めるとともに電子決裁拡大に向けて具体的な庁内での運用ルール等を検討・整理する。										に向けて具
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I計画	3	Ⅱ目標		_		Ⅲ妥当性		3

3 財政基盤の安定化 柱

3-①経常的経費の見直し 重点取組事項

					実施計画シート						
No.	10		取組項目	経常的経費を	含む事務事業の検証						
所管課			財政課		関係課	全課					
取組内容			経常的経費(; アンド・ビル	※)を含む事務 ド(※)などを	8事業の実態を把握、セ 2徹底することで、健全	検証した上~ ℃で持続可能	で、事務事 能な財政運	業の取捨選 営を行う。	選択やスク	ラップ・	
期待される効果 最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底											
計画年度 R2 R3 R4 R5 R6											
			財政担当による 改善・課題点な		む事務事業の見直しや	実施	実施	実施	実施	実施	
			主管課による事	務事業の実態把	握及び検討	実施	実施	実施	実施	実施	
実施項目と	:計画		検討事項の審査			実施	実施	実施	実施	実施	
当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択や スクラップ・アンド・ビルドなどの実施 実施 実施 実施 実施								実施			
目標指標	目標指標 数値目標 経常的経費における事務事業の見直し(検討数) 10 10 10 10 10										

					進捗管	理シート						
R5年度	上半期	맆	改善・課題点等(主管課による実) 検討事項の審査		・課題点	等の検討	実績	要求上	限額配分	作業実施 けた取組開	「各課へ照会 開始	
実施状況	下半期	計画	審査結果に基づ			実績	当初予	算におけ	る経常経費	見額の決定 費の配分決定	Ē	
実施結果の	評	価	スクラップ・7 見直し(サマー うことができた	-レビュー) 🤄								
自己評価	達原	戊度	計画		3		I	目標	3	3	目標(実績値)	11
未達成の原因と 今後の取組							_					
今後の方向性 継続 コメント 子どもファースト事業や今後予定して う、今後も、経常的経費を含む事務事									とができるよ			
行政改革推進 委員会の評価					Ⅱ目標		3		Ⅲ妥当性	=	3	

[※]経常的経費…義務的経費(支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計)のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。 ※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

					実施計画シート								
No.	11		取組項目	元金償還額を	上回らない市債の発行								
所管課			財政課		関係課	全課							
取組内容			償還財源に多額 費の元金償還額	質の一般財源を 質を上回らない	充当することから、市 発行額とすることで、	万政運営の村 健全財政を	艮幹にかかた と維持する	わる事業を (※)。	除き、市債	は、公債			
期待される	S効果		償還財源に多額	還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減									
計画年度 R2 R3 R4 R5 R6													
			元金償還額を	上回らない市債	の発行	実施	実施	実施	実施	実施			
			公債費の抑制			実施	実施	実施	実施	実施			
実施項目と	:計画												
目標指標	数値目	標	年度末の市債残高 421.0億円 418.5億円 416.0億円 413.5億円 411.0億円										

					進捗管	理シート						
R5年度	上半期		主管課による事業 財政フレーム等の		立等の検	討・決定	実績	市債発優先順	行を伴う位等の材	う事業費に 検討	こついて各	が課へ照会、
実施状況	下半期	計画	検討結果に基づく	〈当初予算等	等の編成	Ž.	実績	市債発 償還額 を編成	を上回り	う事業を料 らない市債	青査等する 責発行とな	ら中で、元金 よる当初予算
評価 元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。 実施結果の										-0		
自己評価	達原	戊度	計画		3			目標	ļ	5	目標 (実績値)	377.7億円
未達成の原因と 今後の取組							_					
今後の方向性 継続 コメント 健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。									回らない市			
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I 計画	3		Ⅱ目標		4		Ⅲ妥当性	<u> </u>	4

[※]一般財源…使途が特定されない財源のこと(市町村税や普通交付税など)。

[※]市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となるときに、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。

[※]公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金(地方債)の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。

[※]元金償還額…市債の元金返済額のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

					実施計画シート	•							
No.	12		取組項目	公共施設マネ	ジメントの推進								
所管課			財産管理課		関係課	各施設所管	課						
取組内容			公共施設の計 討し、効率的	画的な維持修終 ・効果的な施記	善による長寿命化や施 没運営のあり方を検討	設保有総量 し、見直す。	の最適化()	施設の廃止	、統合等)	などを検			
期待される	5効果		施設の適正化	投の適正化により安定した財政運営を図る。									
	計画年度 R2 R3 R4 R5 R6												
			施設の廃止、	i設の廃止、統合等の検討・見直し 実施 実施 実施 実施									
			各施設個別計	画の策定		実施	実施						
実施項目と	:計画		各個別施設計	画の内容精査					実施	実施			
目標指標	数値目	標	建築施設延床面積削減率(平成28年対比) 1.48% 1.85% 2.22% 2.59% 2.96%										

進捗管理シート														
R5年度 実施状況	上半期	計画		計画の内容精査 施設等総合管理	国の内容精査 没等総合管理計画の改訂(案)			・個別	拖設計画	の内容を	施設計画の 踏まえて賃 訂(案)の	国市公共施		
	下半期	計画	開催		设マネジメント推進本部会議の 役等総合管理計画の改訂			・亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議にて、令和4年度末時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等の共有化を行うとともに、個別施設計画及び亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂内容の承認						
実施結果の 自己評価	評	価		近床面積削減率について、数値目標を達成することができた。また、個別施設計画との整 り、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。										
	達成度		計画		3			目標		3	目標 (実績値)	2.96%		
未達成の原因と 今後の取組			_											
今後の方向性			継続	継続 コメント 改訂された管理計画 き続き行う。					iをもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引					
行政改革推進 委員会の評価	達用	成度	I計画	3		Ⅱ目標		3		Ⅲ妥当性	±	3		

[※]公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化(総量縮減)など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート														
No.	13	取組項目	取組項目 受益者負担の適正化											
所管課		企画調整課・	牧育総務課 関係課 使用料・手数料の所管課											
取組内容			受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較に よる現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。											
期待される	5効果	受益と負担の	受益と負担の公平性を保つ											
		計画	年度	R2	R3	R4	R5	R6						
		①使用料・手	数料の検証											
		使用料・手数	料の状況把握、	近隣市の状況調査	実施	実施	実施	実施	実施					
		調査結果の検 分析	証、近隣市との	の比較等による現状		実施	実施	実施	実施					
実施項目と計画		使用料・手数	料の適正化の権	倹討・見直し		実施	実施	実施	実施					
		②学校施設使	用料の検証											
		学校施設使用	料の状況把握、	近隣市の状況調査	実施									
		調査結果の検証 近隣市との比		犬分析	実施									
		使用料徴収の	適正化を検討	・見直し		実施								
目標指標	数値目	標	_		_	_	_	_	_					
•						•	•		-					

進捗管理シート												
R5年度 実施状況	上半期	計画	・インボイス制度 ・手数料の他市設	に係る近隣市等の対応状況調査 定状況調査			実績	・インボイス制度開始に係る近隣市等の対応状況、 手数料・使用料の見直し状況調査 ・本市の使用料・手数料の見直し状況調査				
	下半期	計画	・インボイス制度に係る使用料等適正化の検 ・手数料の他市設定状況調査				実績	・近隣市等の手数料・使用料の見直し状況調査・本市の使用料・手数料の見直し状況調査				
実施結果の 自己評価	評価		市立病院の手数料やかめまるランド使用料を見直すなど、受益者負担の適正化に努めた。また、インボイス制度の開始に際して、近隣自治体の調査を行うなど、スムーズな制度対応に努めた。									
	達成度		計画		3		目標		_		目標(実績値)	_
未達成の原因と 今後の取組												
今後の方向性			継続 コメント 物価高			騰を考慮した	を考慮した適正な価格設定に			める必要	がある。	
行政改革推進 委員会の評価	達原	戊度	I計画	3		Ⅱ目標		_		Ⅲ妥当性	≣	3

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画 令和5年度取組結果

亀岡市政策企画部企画調整課

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8 番地
TEL(0771)25-5006/FAX(0771)24-5501
E-Mail yume-vision@city.kameoka.lg.jp